

■八王子市役所の代表電話  
☎042-626-3111

■ホームページアドレス <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>  
モバイル(携帯電話)版 <http://mobile.city.hachioji.tokyo.jp/>



携帯電話用  
2次元コード



## 語り継ぐ「戦争の記憶」

昭和20年8月2日未明の「八王子空襲」。死傷者およそ2,450名、当時の市街地の約80パーセントが焼失するなど、本市は壊滅的な被害を受けました(写真は昭和20年9月の八日町交差点付近。奥住喜重さん提供)。私たちは戦争の記憶を風化させず、次世代へ伝えていかなければなりません。

## まさに“地獄”でした



渡邊マサ子さん  
(万町・83歳)

「始まったぞ、早く出ろ」突然父が叫びました。何を取る間もなく、外へ飛び出すと「ビュー」「シャー」と雨のように焼夷弾が降りそそいでいました。その音が恐ろしくて声も出ず、顔も足も引きつりながら、無我夢中で走りました。

必死の思いで安土山(やすどやま。現在のひよどり山付近)にたどり着くと、そこは右往左往する大勢の人たちで埋まっていました。暗闇の中で離れ離れになり、母を求め、子を探して叫ぶ悲痛な声は、今でも耳に染み付いています。

私たち家族は身を寄せ合い、桑の木の下にうずくまりました。しばらくして、恐る恐る立ち上がると、目の前には猛火に包まれた八王子の街が広がっていました。燃え盛る真っ赤な炎。まるで地獄を見ているよう——ただぼう然と、言葉もなく立ちつくしたあの日のことは、生涯忘れることができません。

穏やかに暮らす日々、そして一番大切な命。何もかも失われてしまった戦争なんて、もう二度と起きてほしくありません。だからこそ、体験した者として、皆さんに語り伝えていかなければと思っています。

## 戦争の悲惨さと平和の尊さ伝える「平和展」

平和展の催し一覧(会場:学園都市センター)

内容	日時
八王子空襲や原爆の惨状を伝える写真パネル、「青い目の人形(メアリー)」、小・中学生が描いたポスター、実物の地雷などの展示	7月29日～8月2日の午前10時～午後6時(2日は5時まで)
空襲や被爆体験者による「語り部」	7月29～31日、8月2日の午後1時～2時30分、午後3時～4時30分
市民グループによる空襲体験記の朗読	7月30日、8月1日の午前11時～(約1時間)
講演会「八王子空襲について」	8月1日(日)午後2時～4時30分

7月29日から8月2日まで学園都市センター(八王子スクエアビル内)で、平和展を開催します。  
今号でお話していただいた渡邊さんのように、空襲などにあわれた方が当時の実体験をお話する「語り部」や、南多摩高校教諭・齊藤勉さんによる八王子空襲の講演会など、左表の催しを行います。入場は無料。申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

### 平和ポスター展も開催

市内の小・中学生が描いた平和をイメージした約200点のポスターを展示します。  
日時 7月21～25日の午前10時～午後10時まで(25日は6時まで)  
会場 イトーヨーカドー八王子店(狭間町)

### 問い合わせ 総務課

(☎)620・720  
1、FAX621  
1268)へ

### もくじ(主な内容)

▶2・3…安全・安心トピックスなど ▶4・5…「赤ちゃんふらっと」のご利用をなど ▶6～9…催しなど ▶10…みんなの声 ▶16…花火大会など